

News Release

2025 年 3 月 4 日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2025 年 2 月 28 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASFグループ: 2024年の業績

BASF、コア事業の好調により、2024 年は特別項目控除前 EBITDA が増加

- 特別項目控除前 EBITDA はコア事業において前年比 18%増、スタンドアロン事業では 13%減
- 純利益は前年を大幅に上回る 13 億ユーロ(2023 年は 2 億ユーロ)
- 2024 年度は 1 株当たり 2.25 ユーロの配当を提案

2025 年の見通し:

- 特別項目控除前 EBITDA は 80 億~84 億ユーロを見込む(2024 年は 79 億ユーロ)
- フリー・キャッシュフローは 4 億~8 億ユーロとなる見通し(2024 年は 7 億ユーロ)

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)はこのほど、2024 年度の業績を発表しました。厳しい市場環境の中、BASF グループの特別項目控除前 EBITDA (減価償却費および特別項目控除前営業利益)は、2024 年通年で 79 億ユーロに達しました。BASF 取締役会会長 Dr. マーカス・カミートは最高財務責任者(CFO)の Dr. デイルク・エルバーマンとともに 2024 年度の事業推移の詳細を報告し、「特別項目控除前 EBITDA が前年比で 18%増となったコア事業の好調により、業績は順調に推移しました」と述べました。BASF グループの特別項目控除前 EBITDA は、全体で 2%増

加しました。コア事業では主に販売量の増加により、特別項目控除前 EBITDA が大幅増となりましたが、スタンドアロン事業での減益により、これが一部相殺されました。アグロソリューション事業セグメントでは、主にグルホシネートアンモニウム事業の業況により、特別項目控除前 EBITDA が大幅に減少しました。触媒事業本部における貴金属価格の急落および販売量の減少が、サーフェステクノロジー事業セグメントにおける若干の減益につながりました。BASF グループの特別項目控除前 EBITDA マージンは、前年の 11.1%に対し、12.0%でした。貴金属および卑金属からの収益を除いた BASF グループの特別項目控除前 EBITDA マージンは、前年の 12.6%から 13.1%に拡大しました。

2024 年度の業績

2024 年度の売上高は 前年度の 689 億ユーロに対し、653 億ユーロでした。コア事業における販売量の大幅増に加え、アグロソリューション事業セグメントの販売量も若干増加したため、自動車産業の低迷によるサーフェステクノロジー事業セグメントの販売量の減少を補って余りある結果となりました。しかしながら、全事業セグメントにおいて競争による価格下落が発生したため、全体としては減収となりました。とりわけ、サーフェステクノロジー事業セグメントにおける貴金属価格の下落が顕著でした。為替のマイナス効果も売上高をさらに押し下げました。

EBITDA は前年の 72 億ユーロに対し、67 億ユーロでした。**EBIT**(営業利益)は 前年比 2 億 6 百万ユーロ減の 20 億ユーロでした。減価償却費は 46 億ユーロでした(2023 年は 49 億ユーロ)。これには、主にサーフェステクノロジー事業セグメントの電池材料事業に関連する 7 億 2 百万ユーロの減損が含まれています。前年の EBIT には総額約 11 億ユーロの減損が含まれていました。

純利益は前年の 2 億 25 百万ユーロに対し、13 億ユーロとなりました。持ち株からの純利益は 7 億 98 百万ユーロ増の 5 億 98 百万ユーロでした。これには主に、持分法を適用した非連結会社の利益改善が寄与しました。これは、とりわけ Harbour Energy への Wintershall Dea 資産の売却に関連する、3 億 90 百万ユーロの処分益によるものです。

BASF グループの 2024 年のキャッシュフロー

2024 年度の営業活動によるキャッシュフローは 前年比 12 億ユーロ減の 69 億ユーロでした。減少の主な原因は、正味運転資本からの現金回収が 14 億ユーロ減少したことです。

投資活動によるキャッシュフローは、2023 年度のマイナス 50 億ユーロに続き、2024 年度はマイナス 51 億ユーロとなりました。無形資産および土地、工場、設備に対する支払いは 8 億 3 百万ユーロ増の 62 億ユーロでした。これは主に中国南部のフェアブント(統合生産拠点)の建設に関連して発生したものです。「投資は日程通り、予算内で進んでいます。全体として、当初予想の 65 億ユーロを 3 億ユーロ下回りました」とエルバーマンは述べています。

財務活動によるキャッシュフローは 前年のマイナス 29 億ユーロに対し、マイナス 15 億ユーロでした。金融負債および同様の負債の返済および新規借入が減少し、それらの借入純額の変動が財務活動によるキャッシュフローの全体的な改善につながりました。

営業活動によるキャッシュフローから、土地、工場、設備および無形資産に対する支払いを差し引いたフリー・キャッシュフローは前年の 27 億ユーロに対し、7 億 48 百万ユーロでした。

1 株当たり 2.25 ユーロの配当を提案

BASF は新たな戦略の一環として、引き続き魅力的な配当利回りを株主の皆様を提供します。中期的には、配当と自社株買いの組み合わせにより、株主の皆様への利益分配総額を少なくとも前年水準に維持することを約束します。BASF は、2025 年から 2028 年までに少なくとも 120 億ユーロを株主の皆様分配到するという目標を掲げています。具体的には、年間 1 株当たり最低 2.25 ユーロの配当、または年間約 20 億ユーロの利益を BASF の株主の皆様へ分配することを目指しています。そのため、2024 年度は 1 株当たり 2.25 ユーロの配当を提案します。

コスト削減プログラムの状況

エルバーマンはコスト削減プログラムの実施状況について、次のように述べています。「2026 年末までに年間 21 億ユーロのコスト削減を達成するという目標に向けて、順

調に進んでいます。2024 年末までに、すでに年間総額約 10 億ユーロのコスト削減（ランレート）を達成しており、そのうち約 1 億ユーロは 2024 年 2 月に発表したルートヴィヒスハーフェンのコスト改善プログラムに関連するものです。」BASF は、2024 年末までのコスト削減プログラムの実施に関連して、累積で約 9 億ユーロの一時費用を負担しました。この額は、BASF が 2026 年末までに想定している一時費用の約半分にあたります。BASF は 2026 年末までにすべてのプログラムを完了することを目指しており、年間ベースで削減額の全額を享受していくことになります。

BASF グループの 2025 年の見通し

BASF グループの特別項目控除前 EBITDA は 2025 年、80 億～84 億ユーロに達する見込みです（2024 年は 79 億ユーロ）。ケミカル事業セグメントを除く全事業セグメントが、増益に寄与する見通しです。とりわけ石油化学品事業本部の利益は、中国の新しいフェアブント（統合生産拠点）の立ち上げや、定期修繕に関連する固定費の増加による影響を受けるでしょう。

BASF グループのフリー・キャッシュフローは、4 億～8 億ユーロになると予測しています（2024 年は 7 億ユーロ）。これは、営業活動によるキャッシュフローの予想額 56 億～60 億ユーロから、土地、工場、設備および無形資産に対する支払予想額の 52 億ユーロを差し引いたものです。

CO₂ 排出量は、2025 年には 1,670 万トン～1,770 万トンになる見込みです（2024 年は 1,700 万トン）。需要増に基づく生産量の増加により、前年度よりも CO₂ 排出量が増加することが予想されます。BASF は、エネルギー効率の向上やプロセスの最適化、再生可能エネルギー由来の電力への移行の継続など、排出量削減にターゲットを絞った対策によって CO₂ 排出量の増加に対応していきます。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF について

BASF（ビーエーエスエフ）は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。私たちは、持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追究しています。また、お客様のグリーントランスフォーメーションを可能にする、選ばれる化学会社になるという意欲的な目標を掲げています。全世界で約 112,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、コア事業の事業セグメント（ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、ニュートリション & ケア）、スタンドアロン事業の事業セグメント（サーフェステクノロジー、アグロソリューション）から成ります。2024 年の BASF の売上高は 653 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所（BAS）に上場しているほか、米国預託証券（BASFY）として取引されています。BASF の詳しい情報は、<https://www.basf.com/global/en.html> をご覧ください。

■将来の予測に関する記述について

本リリースには BASF 経営陣による現時点での推測および予測、ならびに現在入手可能な情報に基づく「将来の予測に関する記述」が含まれています。これらはここに記す将来の進展や業績を保証するものではなく、多くの要因に依存し、様々なリスクと不確実性を含んでいるほか、正確とは限らない仮定に基づいています。本リリースに記載された将来の予測に関する記述に関しては、BASF は更新の義務を負いません。